

古代東北史を題材とした地域史・歴史遺産の研究

関連キーワード: 蝦夷 城柵 文化財

研究内容

・交通・交流の視点から日本古代の地域社会、国家の特色を考えることを課題とし、またその具体的ケーススタディとして、古代東北地方における交通交流の歴史を研究している。

・現在の東北地域は、前近代に「奥羽」（陸奥出羽）とよばれてきた地域に重なる。この奥羽は関東地方以西の地域との区別されるひとまとまりの地域とされがちだが、実際には多様な個性をもつ様々な地域の集まりであり、これを政治的な必要から古代国家がとりまとめた枠組みにすぎない。

国家から「蝦夷」と呼ばれていた人々も、坂東や北陸などの地域から移住してきた人々も、それぞれの地域で独自の文化を築きつつ一方で南北の様々な地域と交流を結んでいた。そうした多様な文化が溶け合いまたぶつかり合う場でもあった古代の東北＝奥羽について、地域間の交通・交流のありかたという観点からその特色を考えている。

・またこの課題に関わる地域の歴史遺産の保全とその活用のあり方にも関心を持っている。

遺跡保存や文化財保護、自治体史の編纂などに関わる下記の自治体の委員等を務め、史跡保存や地域史の啓発普及に関する活動をおこなっている。

宮城県：仙台市、名取市、岩沼市、大崎市

岩手県：北上市、花巻市

山形県：大石田町

またそうした活動の結節点としてのミュージアムやアーカイヴズの役割にも関心を持っている。

研究者プロフィール

文学部 歴史学科 教授 永田英明

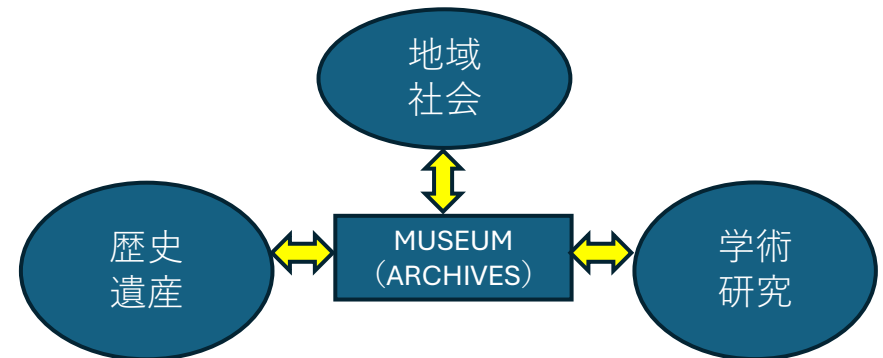
- ・専門分野 歴史学（日本古代史）
- ・東北学院大学博物館 館長
- ・所属学会 史学会、木簡学会 など
- ・学位 博士（文学）
- ・主著

『古代駅伝馬制度の研究』（2004吉川弘文館）

『城柵と蝦夷の時代』（2015吉川弘文館 共著）



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他



研究者への連絡先

※産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122